

学内コンピュータの分類

PCネットワークの管理・活用を考える会

第1回 大学向けライセンス管理分科会

柳原秀基

分類

- 使用形態
 - 特定業務用PC, 汎用処理用PC, サーバPC
 - 教職員私用PC, 学生私用PC
- 購入資金
 - 公的研究資金、学内資金
 - 自費
- 業務の目的
 - 大学の業務(事務、研究、教育)
 - 私用

ライセンス違反責任の問われ方

- 大学の業務に使用された場合
 - 事務、研究、教育すべて
 - 法人としての大学が責任を問われる
- 私用として使われた場合
 - 違反者個人に責任が問われる
- 業務／私用
 - ハードウェア、ソフトウェアの所有者(資産管理者)には関係なく、仕事の目的が問題

大学でのPC分類

	資産 分類	使用目的	使用形態と問題点	管理 の主体
1	大学 資産	特定業務専用 (OPACなど)	多くは専用システムであり、ユーザの使用方法是制限されている。比較的管理し易い。	学内 管理者
2		職員事務用	企業での業務PCとほぼ同様。学務システム等のサーバと接続することが多い。	
3		教室配備PC 学生演習室 CALL教室	多様なソフトウェアがインストールされた教育専用システムである。台数は膨大で、管理ツールを利用して運用するのが一般的。	
4		研究室用	職員事務用とほぼ同じもの。学生の個人情報保存されやすい。学外に持ち出されることも多い。	利用者
5			ソフトウェア開発、実験装置、計測用などの特定研究目的用。私物が代用されることも多い。	
6	私物	教員の私物	パーソナルユースだが、成績など、学生の個人情報が保存されやすい。学外に持ち出されることも多い。	
7		学生の私物	レポート執筆、研究、ゲームなど。学外に持ち出されることも多い。	

大学でのPC分類

	資産 分類	使用目的	主なソフトウェア	管理 の主体
1	大学 資産	特定業務専用 (OPACなど)	大半はWindows + MS-Office 他	学内 管理者
2		職員事務用		
3		教室配備PC 学生演習室 CALL教室	Windows + MS-Office , Linux , Solaris , MacOS 専用の運用管理システム、教育用システム	
4		研究室用	Windows , MacOS , Linux , *FSD , Solaris , Etc .. 研究用ソフトウェア(要ライセンス or フリー)	利用者
5				
6	私物	教員の私物		
7		学生の私物		

管理者の違いによる問題点

- 学内管理者によるライセンス管理
 - 企業での一般的なライセンス管理体制(規則)は導入可能か？
 - 職員事務用PCへのソフトウェア違法コピーは防止できるだろうか？
- 利用者自身によるライセンス管理
 - 外部への持ち出しが多い。情報漏えい対策は十分だろうか？
 - セキュリティパッチ適用、アンチウィルス対策、ソフトウェア違法コピー対策は確実だろうか？